

いつもお世話になっております。

今月分の請求書を送付いたしますので、何卒ご査収の程よろしくお願い申し上げます。

いつもありがとうございます。

お盆真っ只中の大阪は、すこし涼しい感じがします。みなさまはいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

家の近所に、日本最古のお寺「四天王寺」があります。度々の焼失により、当時の建物は残っていませんが、四天王寺建立のため、聖徳太子によって百済より招かれた3人の宮大工のうちの1人である金剛重光が、578年に創業した「金剛組」という会社は、現存する世界最古の企業で、今でも四天王寺の目の前にビルがあります。

そんな歴史的なお寺とはいえ、京都の清水寺のように観光客が押し寄せるようなお寺ではありません。普段は近所の人や、外国人観光客をちらほら見かける程度ですが、仏教の宗派にこだわらず永代供養をされているので、お彼岸とお盆には参拝客でいっぱいになります。

お盆の行事というのは、地域によっても宗派によっても様々のようですが、四天王寺では「万灯供養」という行事がおこなわれ、夕暮れになっても人の列が途切れません。

先祖の名前を記入したろうそくに火を灯し、1万本のろうそくが静かに燃える厳かな雰囲気・・・というよりは、メラメラと勢よく燃える様子に思わず笑ってしまいました。そんな伽藍のなかを、スピーカーから響き渡る般若心経にあわせて僧侶が練り歩き、参拝客もその列につづいて歩きます。邪魔にならない場所で手をあわせて見ていると、なんだかアジアの異国を旅しているような気分でした。

四天王寺名物のひとつ、毎月21日（空海の命日）と22日（聖徳太子の命日）に開催される縁日は、300年以上続いているそうです。

食べ物、日用品、骨董品・アンティークから、ゴミにしか見えないガラクタを売っている店などがたくさん出店します。初めて行ったときは、昭和のころに売っていたような洗剤や、おばあちゃんの肌着や、片方だけのポロ靴が並ぶカオスな光景に驚きました。

今はコンビニやスーパーでなんでもすぐには買えますが、昔は月に一度、お参りにきたついでに、日用品の買い物を楽しみにしている人が多かったのかもしれない。店主の高齢化や、客層の変化のせいかな、2年前に比べても出店数は減っているようにおもいます。それでも、春と秋のお彼岸の縁日は、一年の中でも特ににぎわいます。こちらに引っ越してくるまでは、印象の薄かった四天王寺。大阪の人でも、行ったことがない人は多いと思いますが、ディープな大阪を感じられる場所のひとつです。

関東は涼しい夏だったそうですね。大阪はいつも以上にジリジリと暑い夏でした。今後、関東も残暑は厳しくなると天気予報で言っていました。どうなることでしょうか。みなさま、夏のお疲れがでませんように、どうぞご自愛くださいませ。



石鳥居は鎌倉後期に建て替えられたもの



メラメラと燃え盛る炎



五重塔の奥には、日本一高いビル、あべのハルカス。